

熱中症「嚴重警戒」「危険」等の対応マニュアル

熱中症が心配されます。以下のような対応を必ずお願いします。

市からのFAXを受け、速やかに、下記の手順で。



嚴重警戒

授業中であっても
緊急放送します。

授業中の対応

- 水分の補給
 - ・1時間に1回全員一斉に指示する。
- 体調を確認する
 - ・顔色、状況を確認
 - ・必要に応じて保健室
 - ・体調悪い生徒は、早めに申し出るよう指導

危険指標5

夏季休業中は
日直が放送する

部活動の指導

- 活動場所に、必ず指導者が付いている。
 - ・出張等で両顧問が出られない場合管理職と相談し対応する。(授業日に限る)
 - ・顧問不在での活動は禁止する。
- スポーツドリンク等を準備させる。
 - ・定期的に水分補給させる
- 屋外では、帽子を着用させる
 - ・運動に適する帽子を持ってこさせる。
- 休憩中や見学中は、日陰にされる。

体調に異常が見られたら

- ・保健室へ
- ・涼しい場所へ
- ・衣服類をゆるめる
- ・濡れタオルなどを当て扇ぐ

太い血管のある脇の下、
首、足の付け根・股の間を
冷やす

- 保護者へ連絡(状況を説明)
- 一人で帰さない。

生徒の持ち物

- ・水筒を持参させる。
- ・帽子を用意させる。

その場の判断で 119番

なお、長期休業中等の土日については顧問の指導の下、熱中症計や体感等で判断する